

きずな

第 3 6 号

発行
あわら警察署
少年警察協助力員会
(あわら警察署内)

「地域の少年は地域で育てる」を基本理念に
あわら警察署少年警察協助力員会長

北浦 博美

私たち少年警察協助力員会は、少年の非行防止や健全育成のために活動している民間ボランティア団体です。警察から委嘱され、街頭補導や登下校見守り、世論の啓発活動、有害環境浄化などの活動を行っています。

昨年は未曾有の災害での幕開けでしたが、3月には北陸新幹線の延伸により、金沢〜敦賀間が開業した事で、面白い話題も増えてきたように感じます。

これを機に、これまであわら警察署単独の活動が主でしたが、坂井警察署や坂井西警察署の警察協助力員会とも連携し、3署合同での自転車防犯診断や「ふくいクリーンアップ&安心・安全プロジェクト」の活動なども実施いたしました。3警察署にとって新幹線の最寄り駅が芦原温泉駅ということもあり、今後連携し活動していきたいと思っております。

また、毎年恒例の「防犯ポスター・作文コンクール」の表彰式を、芦原温泉駅賑わい施設「アフレア」にて、警察署のイベントに合わせて開催する事で、子供たちの素晴らしい作品を見て頂ける機会をつくる事が出来ました。本紙にもその入賞作品を掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

近年、SNSの普及により、子どもたちが様々な情報に触れる機会が増えています。その中には有益な情報もありますが、一方で有害な情報やトラブルに巻き込まれるリスクも存在します。子どもたちが

安全にSNSを利用できるように、保護者の皆様のサポートと共に、啓発活動にも力を入れていきたいと思っております。



私たちの活動は非常に地味ですが、「地域の少年は地域で育てる」を基本理念として、常に温かい心で目配り気配りをしながら、子供達の未来を守る為に活動して参ります。どうかこれからも、少年警察協助力員会の活動にご理解とご協力をお願い致します。

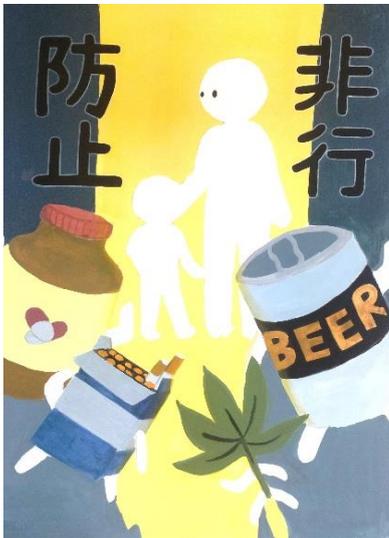
「青少年健全育成について」

あわら警察署長 北島 正勝

あわら警察署少年警察協助力員会の皆様には、平素から少年の非行防止に向けた街頭補導活動や啓発活動に御尽力を賜り深く感謝申し上げます。

特に昨年は、防犯ポスター・作文コンクールの表彰式を、9月開催の「あわら警察署安全・安心まちづくり大会」で実施したくお願いしたところ、ご多忙の中、例年よりも早い作品審査に御協力いただき、誠にありがとうございました。

最近の少年非行等の情勢ですが、昨年検挙・補導された少年は前年(令和5年)よりも多く、新型コロナウイルスが落ち着き始めた令和4年以降増加傾向にあります。



芦原中1年 白崎紬さんの作品



芦原小1年 はたなかまなさんの作品



全国では、いわゆる闇バイトに応募した少年が犯罪に加担して検挙された事案が発生しているほか、SNSをめぐるでは、見知らぬ相手とのやり取りの中で性被害や消費者トラブルに巻き込まれる事案もみられるところです。

こうした情勢の中、少年が犯罪に巻き込まれず、健やかに成長できる社会をつくるためには、地域全体で子どもを見守り、育てる環境が大切であり、その一翼を担っておられる皆様の活動に期待するところは非常に大きいものがあります。

本年も子ども達の安全・安心と健全育成に向けた活動に御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和6年度

あわら地区防犯ポスター・作文コンクール

防犯作文の部

【最優秀賞 中学生の部】

「あいさつで防犯」

荻原中学校2年 高江 結菜

私が「防犯」ときいてまず思い浮かべるのは、地域の見守り隊です。小学校の時、通学路に立って見守ってくれたり、集団登校の班と一緒に歩いて学校まで送り届けてくれました。

防犯といえば、「大人がしているもの」というイメージがあり、中学生の私が出発することは思いつかなかった。防犯は大切なことだと思うが、自分が出発することについて考えたことはなかったので、改めて出来ることを考えてみようと思った。

一つ目に、あいさつは防犯効果があると思う。

あいさつは、してもされても少しうれしい気持ちになる。しかし、あいさつの効果はそれだけではない。近所の人とあいさつをすることにより、コミュニケーションの機会になるほど、人と人とのつながりを深める効果が期待できる。周り

りとつながることに

よって自然に「コミュニケーション」が作られるので、地域外の人に対するチエック機能にもなると思う。

犯罪を行おうとする人は、現場の下見に来ることが多い。そして、下見段階で諦めた理由で



金津小4年 牧田珠槻さんの作品



金津小5年 藤田咲優里さんの作品



金津小5年 酒井彩寧さんの作品

最も多いのが「近所の人に声をかけられたりジロジロ見られた。住人同士があいさつしているのを見たから」だそう。あいさつすることによって、自分も相手も良い気持ちになることができ、良い人間関係を築くことができる。そして防犯にもなるので一石二鳥だ。

次に外出時の戸締りも防犯に大きな効果がある。

玄関の鍵はもちろん勝手口や窓の鍵を確実に閉めることが大切である。また、短い時間外出する時も「少しくらい」という油断をしないことだ。また、外から部屋の中が見えないように工夫することなど、少しの意識で防ぐことができる犯罪がたくさんある。大切なことは、中学生の私達も一人ひとりが防犯について考え、行動することだと思う。防犯について、あまり深く考えたことのない人も多いかもしれないが、一人ひとりが考えて取り組むことで犯罪が少なく、より安全な社会にすることが出来ると思う。

防犯について考えた結果、私にもできることを見つけた。まず、積極的にあいさつすることだ。最近はずかしくて小さい声でしかできていなかったが、相手の顔を見て、自分から大きな声であいさつすることを心がける。また、外出時の戸締りは、窓の鍵はもちろん、カーテンや障子を閉めたかの確認をする。今までも、家族で戸締りの声かけをしてきた。小さい頃からの習慣なのでお手伝いの一つだと思っていたが、防犯対策をしてとても大切なことだと再確認できたので、さらに意識していく。

防犯は、中学生でも出来るものがたくさんあることが分かった。地域全体で取り組めば、犯罪を防ぐことが出来ると思う。これからもいろいろな防犯に取り組んでいきたい。そして、いつか犯罪のない社会を実現させたいと思う。

【最優秀賞 小学校5・6年の部】

『スイカ』

金津小学校 6年 石田悠真

楽しみにしていた夏休み。去年までは子供クラブで友達と過ごしていたけれど、今年は家で留守番することになった。友達と遊ぶ夏休みも楽しいけど、独りの家でゆっくりと好きな時にテレビを見て、好きな時にご飯を食べて、好きな時にゲームができる一日は最高に楽しい。

夏休みのある日、そんな僕の時間をじゃまするような電話の音が鳴った。僕はきくと親からの電話だろうと思い出してみると、聞いたことが無い女の人の声だった。名前も言わずに僕にこう言った。

「もしもし、今からスイカを持っていくから玄関の鍵を開けておいて」

今は家に僕しかいない。誰も僕を助けてくれる人はいない。言われた通りに鍵を開けてしまったら簡単に家に入れるようになってしまふ。もし犯罪者からの電話だったらどうしよう。色々な事を考えて怖くなった。僕は勇気をふりしほって名前を聞いてみた。親

戚のおばさんの名前です少しほつとした。

でも、犯罪者だったら親戚の名前を調べてうそを言っている可能性もある。僕は



金津東小2年 久保創さんの作品



芦原中1年 坂井一露さんの作品



金津小4年 大塚輝月さんの作品

わたし達の学校では、地いきの人達と、関わる機会がたくさんあります。集団登校の見守り隊の人達、さつまいものなえ植えからしゅうかく、いちごがり、もちつき会などでお世話になるサポート会の人達、また小学校と合同で行う地区運動会の人達とさまざまです。

き、身近に相談できる人がいることが大切だと思います。わたし達の学校では、地いきの人達と、関わる機会がたくさんあります。集団登校の見守り隊の人達、さつまいものなえ植えからしゅうかく、いちごがり、もちつき会などでお世話になるサポート会の人達、また小学校と合同で行う地区運動会の人達とさまざまです。

また、家族とのコミュニケーション以外にも地いきの人達とのつながりも大切だと思います。近くに家族が住んでない人にとって、何かあったとき、身近に相談できる人がいることが大切だと思います。

このニュースを聞いたとき、こんなに身近に特殊詐欺が起きたなんて、とてもこわいなと思いました。同時に、わたしの二人のそう祖母が心配になりました。詐欺の被害はだれでもあう可能性があります。少しでも被害にあつてほしくないで、二人のそう祖母達とたくさん話をしようと思います。

二人とも、くらし方はちがうけれど周りのみんなと交流があります。以前から、高れい者をねらう特殊詐欺がふえています。去年わたしの住む地区で、七十代の女性が詐欺被害にあいました。息子さんと二人ぐら

いで、電話の声のちがいは気づいたけれど、のをけがしたと言われ、息子さん本人ではないことに、気づけなかつたそうです。

二人のそう祖母が心配になりました。詐欺の被害はだれでもあう可能性があります。少しでも被害にあつてほしくないで、二人のそう祖母達とたくさん話をしようと思います。

二人とも、くらし方はちがうけれど周りのみんなと交流があります。以前から、高れい者をねらう特殊詐欺がふえています。去年わたしの住む地区で、七十代の女性が詐欺被害にあいました。息子さんと二人ぐら



そう思つて鍵を開けることはせずに、家に着いたらインターホンを鳴らして欲しいとお願いした。インターホンにはカメラがついていて、相手の顔が家の中から確認できるからだ。しばらくしてインターホンの音が鳴り、カメラに親戚のおばさんの顔が映つた時、やっと僕は本当に安心できた。

ぼくはこの経験から、同じような怖い思いをしないためにはどうしたら良いのだろうと考えた。もし本当に犯罪者だつたとしたら、僕の言葉から家にいるのは子供一人だけだと分かり侵入してきたかもしれない。犯罪にあわないためにはできるだけ相手に関わらないようにする事が大切だと思つた。お父さんとお母さんに相談して、家族の中で五つのルールを決めることにした。

一、玄関や窓の鍵が閉まつていることを確認して玄関には手エーンをかけること。
二、インターホンが鳴つたら必ずカメラで確認して、知らない人であつた場合は決して鍵を開けず話もしないこと。

三、家族と電話の合図を決めてそれ以外の電話には出ないこと。

四、遊びに出る時は、行き先と帰る時間のメモを書いて、決めた場所に置いておくこと。
五、外に出る時は、家の鍵がかかっているかを必ず確認すること。

今回の経験で、危険はニュースの中だけでは無く、いつも近くにあるという事が分かつた。そして、僕はその危険に近寄らないように注意する必要があるし、家族を危険から守る役割もあるという事がわかつた。そんな話を家族としながら食べたスイカはとても美味しかつた。

【最優秀賞 小学校3・4年の部】
『広がれ地いきの輪』
伊井小学校 4年 西田結郁

わたしには、わたしの住むあわら市内に、二人のそう祖母がいます。一人は、父の祖母で、わたし・姉・父・母・祖父母といつしよにくらす美知子です。もう一人は、母の祖母で一人ぐらしをする実子です。美知子は、ふだん畑仕事をしていて、近所の人のことをよく知っています。名前や年れい、家族こう成が分かるすごい人です。

実子はお茶・お花・俳句・スイミング・歌を習つたりと、たくさん地いきの人達と交流があるすごい人です。

二人とも、くらし方はちがうけれど周りのみんなと交流があります。以前から、高れい者をねらう特殊詐欺がふえています。去年わたしの住む地区で、七十代の女性が詐欺被害にあいました。息子さんと二人ぐら

いで、電話の声のちがいは気づいたけれど、のをけがしたと言われ、息子さん本人ではないことに、気づけなかつたそうです。

二人のそう祖母が心配になりました。詐欺の被害はだれでもあう可能性があります。少しでも被害にあつてほしくないで、二人のそう祖母達とたくさん話をしようと思います。



こんなに地いきの人達と関わる
ことができる学校は、なかなか
だと思います。

このように、人とコミュニケーション
をとることで、詐欺被害がへる
とよいと思います。

また、おたがいを思いやる気持
ちが育てば、だれかをきずつける
詐欺もへると思います。

あわら地区防犯ポスター・作文コンクール

令和6年度防犯ポスターの部入賞作品

【小学校1・2年の部】
最優秀賞（あわら市長賞）

金津東小学校2年 久保 創

あわら地区防犯連絡所協議会長賞

芦原小学校1年 はたなか まな

【小学校3・4年の部】
最優秀賞（あわら市長賞）

金津小学校4年 牧田 珠槻

福井県金融機関防犯協会あわら支部長賞

金津小学校4年 大塚 輝月

【小学校5・6年の部】
最優秀賞（あわら市長賞）

金津小学校5年 藤田 咲優里

青少年健全育成あわら市民会議会長賞

金津小学校5年 酒井 彩寧

【中学生の部】
最優秀賞（あわら市長賞）

芦原中学校1年 坂井 一蒔

あわら地区コンビニエンスストア等防犯協会会長賞

芦原中学校1年 坂井 一蒔



令和6年度防犯作文の部入賞作品

【小学校3・4年の部】
最優秀賞（あわら警察署長賞）

あわら市教育長賞 伊井小学校4年 西田 結郁



**『富山県立富山学園研修視察』
あわら警察署少年警察協助力員 小林 純一**

十一月二十五日、「青少年健全育成あわら市民
会議」と合同で富山県立富山学園の研修視察に行っ
て参りました。その学園は富山湾と雄大な北アルプ
ス連峰の間にあり、自然豊かな環境に恵まれていま
した。

学園ではまず、園長と担当教諭から施設の概要が
説明され、施設の入所者は概ね十〜二十名の少年で
不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家
庭環境その他の理由により生活指導を要する児童
を入所させ、個々の児童の状況に応じて必要な指導
を行い、退所後も相談その他の援助を行うことを目
的に指導教育する施設との事でした。

学園の一日は六時半起床から清掃で始まり、八時
半から十四時まで学校教育で、以後十七時まで自立
支援を目的とした作業やスポーツ活動の時間になっ
ており、その後は入浴、清掃、洗濯、自習、余暇時間
と続き、二十一時半消灯といった規則正しい生活環
境になっております。

また、生活面に於いては大変充実していて新設の
寮は近代的で児童も快適に過ごしています。食事は
専属の調理師が個人に合わせた献立を提供し健康
面も配慮されておりました。

併せて、施設内には芝生グラウンドや児童たちの
野菜畑があり毎年収穫体験等もされております。
そういった施設の中で、少年達は伸び伸びと生活
しており、特に年間行事の観桜会、野球大会、登山、
駅伝、クリスマス会などを楽しみに頑張っています。

最後に、学園の研修を終え、子どもの成長は家庭
環境からと思い、子どもには決まり事や善悪のけじ
めを教え、愛情をもって生活することが大切だと思
いました。

編集後記

あわら警察署少年警察協助力員 北嶋 博基

昨年三月一六日に北陸新幹線が敦賀駅まで
延伸開業され、国内外の多くの観光客があわら市
に訪れています。

あわら市民総出で今まで以上のおもてなしの心
で迎えたいと思います。

また、昨年はパリオリンピックが開催され、福井
県勢の活躍も目立ちました。一方で近年、地震や
豪雨等の自然災害が発生し、個々の家庭はもちろ
ん、地域としても普段の生活から備えをしていく
必要性が高まっています。

併せて、これからの地域を担う少年たちの健全
育成を念頭に、我々もそれらの一助を担うべく
少年警察協助力員活動を続けて参りたいと思いま
す。

皆様には引き続きご理解とご協力をお願い致し
ます。